

## 第4号議案 積立金の一般会計への合流について

本議案では、使用頻度の低い積立金口座を一般会計口座へ合流させ、帳簿上での予算管理とすることを提案します。

### ◆ PTAが所有している口座の種類

- ① ゆうちょ銀行／一般会計口座……各種支払い等、日々の会計作業で利用
- ② ゆうちょ銀行／振替口座……会費の収集に利用、集めたお金は一般口座へ移動
- ③ ゆうちょ銀行／災害時等留保金口座……有事の際の文具等購入用
- ④ 城南信用金庫／周年行事積立金口座……5年・10年ごとの「周年行事」のための貯蓄用
- ⑤ ゆうちょ銀行／卒業記念品積立金口座……年度ごとに卒業式用コサージュ・証書ホルダーを購入するための口座
- ⑥ 城南信用金庫／備品費積立金口座……パソコンや什器等の大型出費に対応した貯蓄用

### ◆ 多数の口座を管理するデメリット

- 毎年年度初めに、すべての口座の名義人を書き換える必要がある  
→PTAの口座は代表者が会長のため、会長の交代に伴い都度変更の手間が生じる。
- 金銭の移動のたびに手数料がかかる  
→予算を口座から口座へ移動するたびに、手数料を取られてしまう。

そこで、使用頻度の低い口座を一般会計口座へ合流させ、必要な金額は帳簿上での予算管理とすることを提案します。

### ◆ 一般会計口座へ合流させる候補／③ゆうちょ銀行:災害時等留保金口座

(現状)

- 災害時等に、鉛筆やノートを支給するための費用。
- 現在は1児童あたり2千円以上の備蓄がある計算。

(問題点)

- 入金上限が200万円の口座に預金されている。
- 仮に2千円×児童数とした場合、入金上限により、将来の児童数増加に対応できない。

(提案)

- 本口座を解約し、残金を一般会計口座へ合流させる。
- 年度ごとに「児童数×2,000円」を「緊急時等対策費」を予算立てする。
- 基本的に「使わなければラッキー」な予算とする。

◆ 一般会計口座へ合流させる候補／⑤ゆうちょ銀行：卒業記念品積立金口座

(現状)

- 年度ごとに卒業記念品購入予算を移動(R6年度は20万円)
- 卒業式用コサージュ、卒業証書ホルダーの費用を本口座から支払い。

(問題点)

- カードがなく、銀行窓口で通帳と印鑑による支払いを行っている。
- 一般口座→本口座、本口座→支払いのたびに手数料がかかる。

(提案)

- 本口座を解約し、残金を一般会計口座へ合流させる。
- 年度ごとに「卒業記念品購入費」を予算立てし、一般会計講座から支払いをする。

◆ 一般会計口座へ合流させる候補(その3)／⑥城南信用金庫：備品費積立金口座

(現状)

- R6年度時点で約63万円の貯蓄がある。
- PTA室の引っ越しでも、特に巨額出費はなかった。

(問題点)

- カードがなく、銀行窓口で通帳と印鑑による支払いを行っている。
- 一般口座→本口座、本口座→支払いのたびに手数料がかかる。

(提案)

- 本口座を解約し、残金を一般会計口座へ合流させる。
- 突然パソコンが壊れた場合等に備え、毎年30万円程度の「備品費」を予算立てする。
- 基本的に「使わなければラッキー」な予算とする。

◆ 提案まとめ

- ① ゆうちょ銀行／一般会計口座……現状維持
- ② ゆうちょ銀行／振替口座……現状維持
- ③ ゆうちょ銀行／災害時等留保金口座……解約して一般会計口座に合流
- ④ 城南信用金庫／周年行事積立金口座……現状維持
- ⑤ ゆうちょ銀行／卒業記念品積立金口座……解約して一般会計口座に合流
- ⑥ 城南信用金庫／備品費積立金口座……解約して一般会計口座に合流